

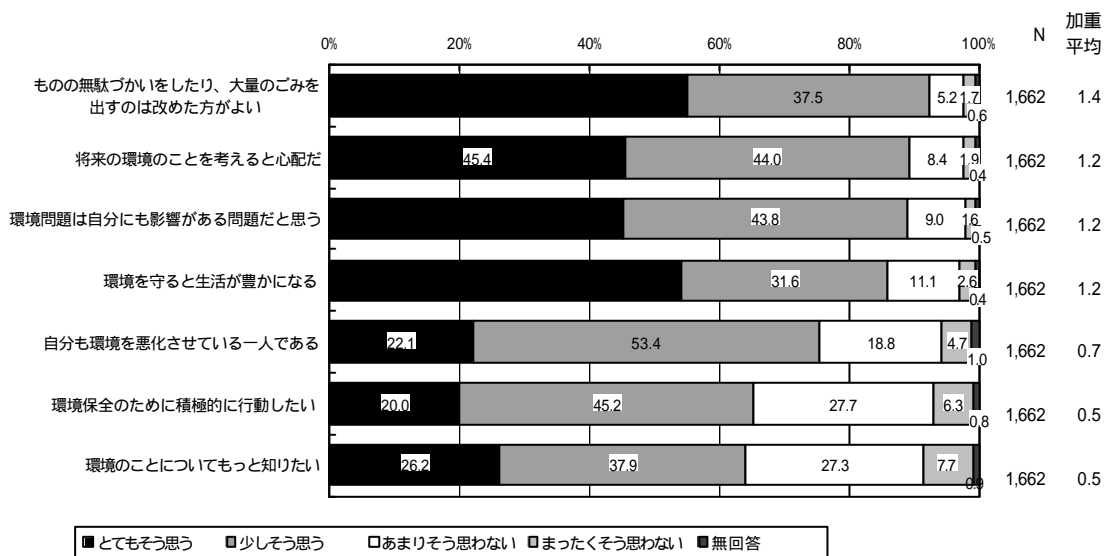
### 3. 環境問題に対する考え方（問3）

「ものの無駄づかいをしたり、大量のごみを出したりする今の生活は、改めた方がよい」「環境を守ると生活が豊かになる」「将来の環境のことを考えると心配だ」「環境問題は自分にも影響がある問題だと思う」という考え方は広く浸透している。しかし、「環境保全のために積極的に行動したい」「環境のことについてもっと知りたい」といった自分自身の生活や行動に関わる意識はやや低い。

環境問題に対する考え方は、「ものの無駄づかいをしたり、大量のごみを出したりする今の生活は、改めた方がよい」「将来の環境のことを考えると心配だ」「環境問題は自分にも影響がある問題だと思う」「環境を守ると生活が豊かになる」の肯定率（「とてもそう思う」と「少しそう思う」の合計）は9割前後にのぼっており、これらの考え方が子どもの中で浸透しているといえる。

これらに比べると、自分自身の生活や行動に関する項目の肯定率はやや低く、「自分も環境を悪化させている一人である」76%、「環境保全のために積極的に行動したい」65%、「環境のことについてもっと知りたい」64%となっている。

【図表 3-1】環境問題に対する考え方（全体）



注) この項の加重平均は、「とてもそう思う」に2点、「少しそう思う」に1点、「あまりそう思わない」に-1点、「まったくそう思わない」に-2点を与えて算出した。

小学生は中学生よりも「環境のことをもっと知りたい」(73%)、「環境保全のために積極的に行動したい」(73%)、「環境を守ると生活が豊かになる」(93%)という意識が強い。

性別にみると、女子は男子よりも「環境保全のために積極的に行動したい」(73%)という意識が高くなっている。

都市規模別では、町村部で「環境のことについてもっと知りたい」「環境保全のために積極的に行動したい」(各74%)、「環境を守ると生活が豊かになる」(90%)という意識が全体に比べ高いという特徴がみられる。

【図表 3-2】環境問題に対する考え方(学齢別、性別、都市規模別)  
(「とてもそう思う」と「少しそう思う」の合計比率)

	全 体	学齢別		性別		都市規模別			
		小 学 生	中 学 生	男 子	女 子	政 令 指 定 都 市	1 0 万 人 以 上	1 0 万 人 未 満	町 村
調査数	1,662	755	907	881	772	299	538	341	484
将来の環境のことを考えると心配だ	89.4	90.8	88.2	86.5	93.1	87.0	88.0	91.2	91.4
環境問題は自分にも影響がある問題だと思 う	88.9	90.1	88.0	86.4	92.0	87.9	89.6	89.4	88.5
ものの無駄づかいをしたり、大量のごみを出 すのは改めた方がよい	92.5	92.3	92.6	90.5	94.9	92.0	92.0	94.1	92.2
自分も環境を悪化させている一人である	75.5	73.1	77.5	72.9	78.9	78.3	71.7	78.0	76.3
環境のことについてもっと知りたい	64.1	73.3	56.5	61.0	67.8	58.9	60.2	60.4	74.4
環境保全のために積極的に行動したい	65.2	72.9	58.8	58.9	72.6	57.2	62.5	64.0	74.1
環境を守ると生活が豊かになる	85.9	93.3	79.7	85.7	86.4	86.6	83.6	83.0	90.1